

分子からのものづくり



登壇者名	金澤 等
役職	代表取締役
連絡先	hkana77@gmail.com

カナラボ
分子レベルで接着する



株式会社カナLABO

設立 (西暦)	2019年4月4日
本社所在地	福島市三河南町1-20 コラッセふくしま6F 福島駅西ロイン キューベートルーム
会社HP	https://kana-labo-jp.com/wp/
事業プラン名	ロボット・ドローンのボルトレス化による燃費向上～異種材料の接着技術で実現～
事業プラン概要	現代は、飛行機やクルマ、各種機器、土木・建築等において、接着技術は不可欠である。接合技術の中で、「材料を面で合わせる接着」は機器の軽量化や静粛性に大きな効果がある。電気自動車の軽量化には、特に重要である。接着は、2つの材料界面間に化学結合を作る結果であるが、その理論を無視した「仮の接着」が極めて多い。そのため、「接着は取れる」という概念があり、ボルトやリベットで補強される。ボーイング787は、材料を接着した上で、20万本のリベットで止められるという。これはナンセンスである；何故か？ 折角の高価で高強度の炭素繊維補強プラスチック(CFRP)を壊しているからである。カナLABOは、代表者が福島大学在職中に発明した福島大学特許第1号「プラスチックの吸水性」が進化した「分子レベルの接着技術」で、世界中で不可能な材料の接着を可能とする。本件では、ドローン機体用のCFRPの接着性増大の結果を示す。
福島/本プログラム にかける想い	真の接着は、身の回りのあらゆる材料を軽量・強化できます。複合材料は革命的に変えられます。塗装も一新できます。他のコピーでなく、革新的な物作りに興味をもって頂きたい。注射器も、テントも変えられます。今ある物だけ使っては、新しい物は作れない。
イベントにご参加 いただく方への一言	2011年の震災を機会として、本技術を、この国、この県のために使いたい、と思うようになりました。「日本の特徴として、新しい事に挑戦する企業が少ない。みんながやらないと、やらない」という気質があります。資源とエネルギーのない国は、新しい技術で革新的なものをつくる必要があります。他の大学からもってきたものではない、福島大学生まれの新技術(国際特許取得)で豊かな福島を実現しませんか？ まずは、声をかけてください。